児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：　令和5年3月20日　　事業所名：　キッズウェイブ

		チェック項目	集計		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	6	0	・児童発達支援事業所の設備及び運営の基準より余裕を持って設置されている。 ・利用児童の特性に配慮し、活動内容を工夫しながら、スペースを有効活用している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	・人員の配置について最低基準よりゆとりを持って配置されている。また、非常勤の職員を配置することにより、利用児を預かる時間は職員が多くなっており、手厚いケアを行う事ができている。 ・利用時の人数に対して非常勤の職員の数を前もって調整している。	・職員配置と担当業務内容、時間の使い方等について、さらに工夫・改善していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	・スロープの設置や手すり、吊り下げ戸を使用していることにより、段差などのない安全な空間が提供されている。 ・可視化し、分かりやすくしてある。 ・教具や療育器具の準備、片付けを徹底し、常に十分な活動スペースを確保している。	・施設内での児童の動きや活動の様子を注視しながら、さらに工夫・改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	・開所前、食前、食後、退所後等、生活の中で細かく消毒や掃除がなされている。 ・窓の開閉による換気を徹底している。また、各部屋に空気清浄機も設置している。	・施設内での児童の動きや活動の様子を注視しながら、さらに工夫・改善していく。 ・感染予防対策等、今後も安心・安全で、心地よく過ごせるように環境つくりを目指し、さらに工夫・改善していく。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	・児童発達支援の職員間での報告、連絡、相談は密に行い、業務遂行と改善を行っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。

業務改善	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	・毎年2月に保護者等による、事業所評価を実施し、業務改善に反映している。	・保護者との情報交換、情報共有の手立てを工夫・改善し、連携を密にとっていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	・毎年年度末に事業所として自己評価を行い、結果及び改善内容をホームページで公開し、施設内にも掲示している。	・評価結果（成果と課題）の確認と改善策の検討を全職員で進め、今後の実践に活かしていく。 ・左記の実践を継続、充実させていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	・第三者機関として公の評価結果は公開していない。	・新型コロナウィルス感染症の流行状況を注視し、安全に配慮しながら、外部評価の場を計画・設定していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	・職員対象の外部研修またはweb上での研修に参加できるように調整している。 ・研修の情報を回覧で見られるようにしている。 ・テーマを決めて、月に一度施設内で研修を行っている。	・利用児童のもつ課題やニーズに応じた研修を計画・実施し、日々の実践に活かしていく。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	・保護者の方との対話の機会を適時設け、その都度利用されるお子様の課題などを聞きながら個別支援計画を作成している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	11	子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	・初めて利用される時のフェイスシートや適切なタイミングで行われる発達検査等、共通したアセスメントツールを用いている。	・左記の実践を継続し、結果の活用を充実させていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	・児童の療育に携わる職員が適時話し合い、その利用児の姿にあった支援が選択されている。	・左記の実践を継続、充実させていく。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	・児童ひとり一人に合った個別支援計画に合わせ、支援が行われている。 ・個別支援計画がすぐに読めるようになっている為、必要な時に確認し、計画に沿った支援を行っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	・療育プログラムは、事前に必ず職員間で検討、改善し、活動のねらいと内容を共有している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	・利用の児童に合わせ、プログラムを変えて行っている。また固定しないように活動を振り返り、工夫していける時間を持っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	6	0	・児童の特性に合わせ、個別と集団を織り交ぜながら、工夫して作成をしている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	・プログラム開始時に、職員間で内容、ねらい、流れなどを周知し役割分担の確認をしている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	・支援終了後には必ず職員間で意見交換を行い、活動についての成果と課題などを記入し、全員がその文書（日案）を共有している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	・活動の記録を毎回とり、支援に関する検証、改善へと繋げている。	・左記の実践を継続、充実させていく。

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	・保護者の方からの要望があった時、または定期的にモニタリングを行い、計画の見直し立案を行っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
関係機関や保護者との連	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	・参画している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	・各機関と連携しながら支援している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	5	・現在、医療的ケアが必要な児童の利用はない。	・連携の内容や手立てについて検討していく。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	5	・現在、医療的ケアが必要な児童の利用はない。	・連携の内容や手立てについて検討していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	・幼稚園や子ども園、保育園との双方の訪問を通して、情報共有や相互理解を深め療育にいかしている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	・必要に応じて、随時連絡を取り合い、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。

連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	・他の福祉施設や専門機関と連携し助言や研修を受けている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1	・多くの児童が幼稚園や保育園に通っており、障がいのない子どもと活動する機会がある。 ・コロナ禍であり、積極的に外部との繋がりを作っていない。	・連携の内容や手立てについて検討していく。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	0	・担当者が参加している。	・担当の職員が継続参加していく。 ・会議内容について、職員会や回覧などで、他の職員への周知を徹底していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	6	0	・サービス提供記録や児童の送迎時の会話を通して、情報共有・共通理解を図っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6	0	・施設の療育専門員による、発達検査、子育て相談の中で、子ども支援の仕方について提示している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	・契約時に個別に、説明している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	・保護者の方に評価、支援計画への説明を行っている。また、その時に同意を得ている。	・左記の実践を継続、充実させていく。

保護者への説明責任問う	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	・保護者の方の悩み等は、随時相談に応じており、その都度適切な支援を提供している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	・コロナ禍であり、現在は保護者会等の開催はできていない。	・新型コロナウィルス感染症の流行状況を注視しながら、計画、実施予定。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	・子育て相談は随時受付、療育担当者が迅速に対応している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	・ホームページやインスタグラム、フェースブック上で活動の様子を公開、紙ベースで行事予定を伝え、LINEや電話などをつかって、適時連絡を双方から発信する体制を整えている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	・個人情報の持ち出しは禁止。 ・個人情報管理についてもルールを決め徹底している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	・ベビーサインやボディーランゲージ、または筆談などを行い、情報伝達への配慮をしている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	・コロナ禍であるため、積極的な外部との繋がりは持っていない。	・新型コロナウィルス感染症の流行状況を注視しながら、計画、実施していく。

非常時等対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0	・各マニュアルは作成されており、職員へ周知されている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	・定期的に「いのちを守る訓練」を行っている。（年3回）	・左記の実践を継続、充実させていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	・契約時に個別に確認している。 ・児童の受け入れ時や保護者の方に提出していただく「毎日体調チェックシート」でも確認している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	・契約時に食物アレルギー調査票を提出いただき確認・把握している。 ・アレルギーの情報は職員間で周知されている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	・ヒヤリハットの事例は職員会や回覧により、全職員で共有されている。	・大きな事故につながらないように、細かく記録をつけ改善していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	・職員会議等で虐待について考える機会を設け適切な対応をしている。	・職員全員が常に意識し、療育に当たっていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	0	・今現在、身体拘束を行うべき利用児はいない。	・今後もし身体拘束を行わなければならない時には、組織として決定し、本人や保護者の方の了承を得たうえで計画へ記載していく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：　令和5年3月20日　　事業所名：　キッズウェイブ

		チェック項目	集計		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	3	0	・スペースは広いため、人数に合わせてパーテーションをしている。 ・広さがあるので活動内容によって部屋を変えて行うが十分なスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	1	2	・職員人数が少ない際は、部屋を1つずつにするなど目が行き届くようにしている。 ・子供の人数に対して職員の人数は適切である。	・安全確保のため放デイに人が欲しい。
	3	事業所の設置等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	0	・車いす用スロープや扉のレールがない。 ・施設内バリアフリーになっており、妨げになるような物の設置はせず、配慮している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1	・1日の目標を決め行っている。 ・保護者とのモニタリングを基に職員間で話し合いを頻繁にし、目標(スモールステップ)の設定を行っている。	・目標を全体共有すべき。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	・意見を受け止め、改善に繋げている。 ・年度末のアンケートを元に翌年の運営・実施に改善を取り組んでいる。	
	6	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	0	・毎年度末に自己評価を行い、ホームページで公開している。 ・集計をして公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2		・これから外部評価など行う様にしていきたい。 ・評価をされているという実感がしない為分からない。

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1	・web等の研修に個人で参加している。	・個人で参加した研修の全体共有が出来るとよい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	・保護者と話し、願いや思いを聞き、ニーズに応えられるような支援計画の作成が出来ている。	・継続していく。
	10	子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	・発達検査を希望者に実施し、結果を基に支援計画を作成している。	・継続し、結果を用いて一人一人に合う支援を行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	・事前に必ず職員間でねらいや内容・進め方等話し合い、より良いものになるよう検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	0	・市販の教材やテキストなどを参考にし、子どもに合った活動内容を話し合い、行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	0	・長期休暇や土曜日等1日活動の時にしか出来ない野外活動やクッキングなど計画・実施している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	・作成している。	・継続していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	・支援内容や動きの説明等、確認し合いスムーズに支援が行えるようにしている。 ・マンツーマン指導が必要な児童がいる日には職員の動きの確認を行い、安全に支援・活動が行えるようにしている。	・継続していく。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	0	・その日のリーダーが日案に反省・課題を記入し、全職員が閲覧できるようにしている。 ・支援方法や支援への気付きをその都度全員で共有している。	・継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	・毎回必ず記録・保管をし、支援の評価・改善や職員間で話し合い支援方法等を考えたり、情報共有をしている。	・継続していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0	・半年に1回、モニタリングを行い、見直しを行っている。 ・帰りの送迎時に保護者様と話をし、希望があった場合、支援方法や目標設定の見直しを検討・実行している。	・継続していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	3	0	・支援目標を状況に合わせて工夫し、実践している。 ・毎日の活動内容が被らないように計画・実施している。	・継続していく。
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	1	・コロナの為、多数集まる事はないが、電話や個別に会議を行っている。	・分からない。 ・共有していく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	0	・必要に応じて学校と情報共有をしている。 ・送迎時には学校の先生にお子さんの学校での様子を聞き、連携を取っている。	・送迎時刻など、急な変更がある為、随時対応していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2		・医療ケアが必要な子は受け入れてい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	0	・必要に応じて連絡を取り合い連携を図っていく。	・継続していく。

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	3	・該当児童はいない。	・必要に応じて対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	・必要に応じて助言をいただいている。	・継続していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	・コロナの為、行えていない。	・コロナが収まったら交流が出来るよう検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	・統括主任が参加している。	・全体共有が出来るとよい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	3	0	・サービス提供記録や送迎時に伝えている。 ・電話相談を行っている。	・継続していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	0	・発達検査等で保護者支援を行っている。	・継続していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	0	・契約時に説明している。	・継続していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	・常時受け付けている。 ・電話相談を行っている。	・継続していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	・コロナの為行えていない。	・コロナが収まったら計画していきたい。

保護者への説明責任問う	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	・苦情について真摯に受け止め対応し、その後の改善策や対応方法などを伝えている。	・継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	0	・ホームページで活動の様子を公開している。	・インスタグラムをもう少し活用し、活動の写真や動画を公開していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	3	0	・施錠をし管理・保管をしている。	・継続していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	・配慮している。	・継続していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	・コロナの為交流する機会は少ないが、野外活動で地域を知るための活動を行っている。	・コロナの為、行っていないが計画をしていきたい。
非常	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	0	・感染症対応・防犯マニュアルが施設内に掲示されており、職員への周知はされている。	・保護者に周知されているかは分からない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	3	0	・定期的に行っている。	・訓練を実施しているが慣れるのではなく、毎回訓練に対する心構えをしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	0	・毎月職員会議で啓発を行うとともに、研修に参加している。	・継続していく。

時等対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	0	・対象児はいない。	・必要に応じ適切に判断・対応していく。また、職員間で共有する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0	・対象児はいない。	・契約時にアレルギー調査を行い、確認・把握をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	3	0	・作成し、全体共有が出来ている。 ・ヒヤリハットが起きないように常に気を付けている。	・継続していく。